答え 8月3日 今日は何の日クイズ

赤い字が答えです



はちみつの日にちなんで「ミツバチとはちみつクイズ」

【第1問】夏に生まれた働きバチの寿命は、どのくらいでしょう？

① 約30日　② 約1年　③ 約10年

夏の働きバチは、ひと月ほどで一生を終えるといわれます。巣のそうじや子育てをしたあと、最後の10日ほどで外へ蜜を集めに出かけます。

【第2問】1匹のミツバチが一生で集めるはちみつは、どのくらい？

① ティースプーン1杯　② コップ1杯　③ ごはん茶わん1杯

1匹が一生で集めるのは、ティースプーン1杯ほどといわれます。びん1本のはちみつは、たくさんのミツバチが力を合わせたたまものです。

【第3問】巣の中で働く「働きバチ」は、オスとメスのどちら？

① オス　② メス　③ 半分ずつ

働きバチは、すべてメスです。オスのハチは巣の仕事をほとんどせず、女王バチと結婚するためにいるといわれます。

【第4問】はちみつを1歳未満の赤ちゃんにあげてはいけないのは、なぜ？

① 甘すぎるから　② 病気のおそれがあるから　③ のどにつまるから

はちみつにはボツリヌス菌がまじっていることがあり、おなかがまだ育っていない赤ちゃんは病気になるおそれがあります。厚生労働省も注意をよびかけています。

【第5問】ミツバチは、水っぽい花の蜜をどうやってとろりとさせる？

① 巣の壁に吸わせる　② 日なたに干す　③ 羽で風を送る

巣の中で羽をはばたかせて風を送り、水分を飛ばして濃くします。ミツバチの羽は、1秒間に200回以上も動くといわれます。

【第6問】はちみつが白く固まりました。どうするとよいでしょう？

① 捨てる　② 冷凍庫に入れる　③ ぬるま湯で湯せんする

寒さで、はちみつのブドウ糖が結晶になっただけで、いたんだわけではありません。ぬるめのお湯で湯せんすると、とろりともどります。

ねらい： 記念日の話題から、知っていることを思い出します。
声かけ： 『「今日は何の日？」から、話を広げてみましょう』
メモ： 答えのあと、うんちくを読み上げると話が広がります。

まいにち元気プリント道場
プリントのダウンロードはこちら →

© 株式会社おふとん　施設・教室・ご家庭で自由にコピーしてお使いいただけます